

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2019年度(財)日本陸上競技連盟規則および本大会要項・競技注意事項によって実施する。

2. 練習について

- (1)「16. 練習場の使用について」にもとづき練習ができる。
- (2) 本競技場での練習可能時間は次のとおりとする。
23日(金) 13時～17時(トラックのみ)
24日(土) 7時45分～9時00分(トラックのみ)
25日(日) 7時45分～9時00分(トラックのみ)

3. 招集について

- (1)招集場所は、メイン競技場・第1ゲート(ゴール側ゲート)外側に設ける。
- (2)招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。
- (3)携帯電話等、競技規則第144条3に関わる機器は競技場内に持ち込むことはできない。
- (4)招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係(招集所)に申し出ること。
- (5)招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。

招集時間

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	全ての種目	30分前	20分前
フィールド競技	種目により、招集開始時刻、完了時刻が変わるので、競技時間表を確認のこと。		
小学生コンバインド	走高跳・走幅跳・ジャベリックホール	50分前	40分前

4. ナンバーカードについて

- (1)ユニフォームの胸、背に確実につける。跳躍競技は胸または背につけるだけでもよい。
- (2)写真判定用の「腰ナンバーカード」はランニングパンツの左右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。リレーは第4走者がつけること。
(小学生は、専用の色テープを着用するので、出発前に係員の指示に従うこと。)

5. 競技場への入退場について

- (1)入場は、全て招集所より係りの誘導により行なう。
- (2)退場は、下記による。
トラック競技はフィニッシュ地点第1ゲートよりメインスタンド外側通路を通り退場のこと。周回競技はダッグアウトを通り、スタート地点へ戻ること。
※ただし、決勝において1～3位の入賞者は係りによって表彰控え席に誘導する。また、フィールド競技の1～3位は競技役員の指示・誘導により表彰控室に誘導する。

6. レーン順・試技順について

- (1)トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2)決勝の組み合わせ及びレーンは招集所及びメインスタンドコンコース掲示板に掲示する。

7. トラック競技の次のラウンド進出の決定について

- (1)タイムにより次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、抽選により決定する。(競技規則第167条)
- (2)決勝進出者の発表は、アナウンス・大型映像及びメインスタンドコンコースの掲示板で行なう。

7. 競技について

(1)トラック競技

- ①スターターの合図は英語とする。「On your marks」、「Set」(小学生も同様とする)
- ②短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。
- ③男子 5000mW はスタート後 30 分、女子 5000mW はスタート後 35 分でレースを打ち切る。

(2)フィールド競技

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ②跳躍・投てき(やり投)競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
- ③三段跳の踏切板は、男子 13m・女子 10m で行う。
- ④棒高跳の競技者は、自分が希望するバーの位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出ること。
その後バーの位置を変更したい場合も、担当審判員に申し出ること。
- ⑤走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りである。

(ただし、天候等の状況により審判長の判断で変更することがある。)

	練習 A	練習 B	1	2	3	4	5	6	7	
女子走高跳	1m45	1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	以後 3cm
男子走高跳	1m80	2m00	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m10	2m13	以後 3cm
女子棒高跳	2m30	3m00	2m40	2m60	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	以後 10cm
男子棒高跳	4m20	4m70	4m30	4m50	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	以後 10cm

※練習は A,B のいずれか希望する高さで行なう。

※第 1 位決定のバーの上げ下げは、走高跳では 2 cm、棒高跳では 5 cmとする。

(3)リレー競技について

- ①リレー競技に出場するチームは、各ラウンドにおいて「リレーオーダー用紙」を招集完了時刻の60分前までに招集所へ提出すること。(オーダー用紙は招集所・TIC にも用意する。)
- ②マーカーは主催者の用意するものを使用すること。

8. 抗議について

- (1)競技の結果または競技実施に関する抗議は、競技規則 146 条により、結果の正式発表後、30 分以内(次のラウンドが行われる競技では 15 分以内)に本人または監督から TIC を通じて審判長に対して口頭で申し出ること。
- (2)審判長の裁定に不服な場合は、ジュリーに預託金 10,000 円を添えて文書で上訴すること。この預託金は、上訴が却下された場合は、返却しない。「上訴申立書」は担当総務員席に準備する。

9. 助力について

- (1)競技者は、勝手に競技場所を離れてはならない。
- (2)競技場内での競技者への助言は、決められた場所(コーチ席)で行うこと。

10. 競技用具について

- (1)競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。
ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。ポールについては競技開始前に跳躍審判員の検査を受け、許可されたものでなければならない。
- (2)やり・円盤については、個人所有のものも認めるが、競技開始 1 時間 30 分前～1 時間前の間に検査を受け、一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。
(TIC まで持参のこと。返却も TIC で行う)

11. 競技用靴について(競技規則第 143 条②③④⑤⑥参照)

スパイクのピンの長さは 9mm 以内とする。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以内とし、スパイクの先端の直径はすべて 4 mm 以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は 11 本以内とする。

12. 表彰について

- (1)各種目 1～3 位には賞状・メダルを、4～8 位には賞状を授与する。
- (2)表彰式は 1～3 位入賞者に対して行なうので競技終了後、競技役員の誘導で表彰控え席に集合のこと。
4～8 位入賞者は成績発表後、賞状を本部表彰室まで各自受け取りに来ること。

13. 第 104 回日本陸上競技選手権大会の申込みについて

第 104 回日本陸上競技選手権大会要項により申し込むこと。

15. 競技場の使用について

- (1)開門時間は午前 7 時である。それ以前には立ち入らないこと。(警報器が作動します)
- (2)メインスタンド 1 階の入場は ID カード着用者のみとする。
- (3)タープテント等の簡易テントの使用は、芝生スタンドのみとする。
- (4)メインスタンド 15 列目より下へチームベンチを設置することを禁止する。
- (5)横断幕は芝生スタンド上部、バックスタンドのみ可能とする。(最前列は禁止)
- (6)競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃し、ゴミは各自で責任をもって持ち帰ること。
- (7)更衣室は、T I C で使用許可書を申請し使用のこと。
- (8)選手の移動は、本競技場内を通らず、競技場外周を使用すること。
- (9)メインスタンド 2 階コンコースへのベンチ設置は、競技場の許可箇所のみとする。
防水塗装保護のため、ブロック(石等も含む)、粘着テープ等の使用を厳禁する。

16. 練習場の使用について

- (1)補助競技場の使用は次の注意を守り競技役員の指示に従うこと。
 - ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
 - 内側の 1・2 レーンは、長距離のペース走専用とする。
 - 内側の 3～6 レーンは、流し等の専用とする。
 - 外側の 7・8 レーンはハードル専用とする。
 - 跳躍種目の練習は所定のピットで行う。
 - 投てき種目の練習は禁止する。
 - 走路及びピットに立ち止まっただけの指導等をしない。
 - 走路は左回りとし、逆走は厳禁とする。
 - 直走路の横断は事故防止の為、禁止する。(曲走路より注意して横断のこと。)
 - 補助競技場内でのチームベンチの設置は禁止する。
 - その他、審判員の指示に従う。
 - 投てき場練習は不可とする。

- (2)雨天練習場の使用は下記の注意を守り、競技役員の指示に従うこと。

- スタンド側の 1 レーンは、流し専用とする。
- 内側の 2 レーンは、高速専用とする。
- 補助競技場側はジョッグ専用とする。
- 事故防止の為、スターティングブロックの設置は禁止する。
- 走路の横断は禁止する。スタンド及び補助競技場への移動は、走路に沿って移動し、招集所及び第 2 ゲート付近から横断をする。
- 全天候舗装部分をチームのベンチにすることを禁止する。



17 その他

- (1)氏名・所属・フリガナ等の間違い。訂正があれば、受付・プログラム受領後、TICに申し出ること。
- (2)貴重品類は各自で保管すること。万一の事故があっても責任は負わない。
- (3)応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室(メインスタンド下)において処置を受けること。
応急処置後は、責任をもたない。
- (4)競技場に商品名のついた衣類、バックを持ち込む場合は以下の規定を守ること。
 - ①上半身の衣類・・・面積 30 cm²以内、文字は縦 4cm 以内、ロゴ全体はでは 5 cm 以内とする。
表示は 1 ヶ所とする。
ワンピースの場合・・・ウエストより上部、下部で 1 か所づつ表示できるが隣接してはならない
(文字の高さ 3 cm 以内・ロゴの高さは 4cm 以内、面積は 30cm²以内の長方形)
 - ②下半身の衣類・・・面積 20 cm²以内、文字は縦 4cm 以内(ロゴを含む)のもの 1 ヶ所とする。
 - ③バック・・・面積 25c m²以内で 2 ヶ所(同一のものでなければならない)
 - ④競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。
- (5)カメラ・ビデオ等の撮影について。
 - ①撮影許可区域での撮影は、禁止する。
※著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、速やかに警察に連絡いたします。

- (6) 棒高跳用ポールの返送希望者は競技場事務所受付にて手続きをすること。両日とも 16 時まで受付ける。
- (7) 参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表及びホームページに使用します。又、大会出場中における映像・写真・記録等への記載権は主催者に属します。
- (8) 自家用車の駐車については、西駐車場を利用のこと。満車の場合、河川敷駐車場(有料)を利用してください。路上駐車は厳禁です。
(マイクロバスは、係員の指示に従って西駐車場に駐車してください。)

18. トレーナーステーションについて

補助競技場ゴール付近のプレハブ内にトレーナーステーションを開設しますが、下記条件での活動になります。

- ・応急処置は医務室へ搬送するまでの簡単な処置で、医学的な処置は行わない。
- ・故障部位に対する、テーピング(持参して下さい)、アイシング、マッサージ等簡単な理学療法を中心とした処置を行う。
- ・コンディショニング調整を目的としたマッサージ、ストレッチング等を行わない。

19. 体育館の利用について

○下記の日程で、陸上競技場横の体育館を、休憩所として利用できます。

- ・1日目(8月24日)メイン体育館が利用できます。
- ・2日目(8月25日)サブ体育館が利用できます。